

# 令和3年度 赤穂市学校(園)評価報告書

学校園名 赤穂市立赤穂西小学校

## 1 本年度の学校(園)経営方針

「『確かな学力』と『豊かな心』をもち、夢に向かって進もうとする児童の育成」の学校教育目標のもと、人権尊重の精神を基盤に据え、互いの個性を認め合う学級、学校をつくり、「今日も来てよかった、明日も来たい、通わせたい赤穂西小学校」を全ての児童・保護者が実感できる学校経営を行う。

## 2 本年度の学校(園)重点目標

- (1) 確かな学力の育成
- (2) 豊かな心の育成
- (3) 健やかな体の育成
- (4) ふるさとを愛する心の醸成
- (5) 教職員が働きやすい職場づくり
- (6) 保護者や地域に信頼される学校づくり

## 総合的な学校園関係者評価

- ・コロナ禍で制約されることも多かったが、色々と工夫されて子ども達に接したり行事を行ったりできていた。そのように子どもと向き合う先生方には頭が下がります。
- ・職員の業務改善を図り、職員にゆとりが出来たことはよかった。今後とも業務改善に取り組みゆとりの心で教育指導をお願いしたい。
- ・人数が少ないことによって、きめ細かな教育が出来る反面、切磋琢磨する機会が少ない。競争社会に適応できるのか気になる。
- ・西小の教師は子ども達に寄り添っている。「子どもは地域の宝」という西部地区の言葉を大切に、地域ぐるみで子どもの成長を考えて行こう。
- ・小規模のメリットを活かし、スポーツフェスティバル等で児童一人一人の自己表現の場を設けており、自立を促すことができています。
- ・先生方と児童の関係が良好であることが見て取れる。今後とも一人一人の特性に応じたご指導をお願いしたい。
- ・学校だよりを適宜発行いただき、学校の様子が分かりやすく伝わってくる。
- ・学校だよりや写真の笑顔から、コロナ禍で制限がある中でも工夫され、代わりの行事が行われ、充実した1年間だったように感じる。
- ・コロナ禍で学校との関わりが少なく評価をすることが難しい。
- ・評価が難しいのでシンプルな内容にすればと思う。

## 3 自己評価結果 (A~D) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

学校園関係者評価  
◎:適切である ○:ほぼ適切である △:あまり適切でない ×:適切でない

観点 (重点目標)	評価項目(学校園・教師の取組) 評価指標および目標値(期待される姿)	評価資料	達成状況	改善の方策
確かな学力の育成	項目 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の創造に努めているか。 指標 単元・授業の中に、児童の個別の学び・協働的な学びが見られる。	研究授業 研究テーマシート 児童の様子 学習成果物	B	・講師招聘研究授業や研修を計画的に実施し、学習指導要領に沿った授業づくりの力を養う。 ・次年度以降も、年度当初と年度末に漢字と計算の習熟度テストをおこない、達成度の変化を分析し、つまずいている学習を重点的におこなう。 ・次年度以降に導入されるA1ドリルを基礎基本定着のため有効活用する。 ・発展的な問題に挑戦する機会を多く設ける。
	項目 基礎・基本の力の定着と向上のため、適切な指導・支援を行っているか。 指標 児童は、学年相応の計算・漢字を8割以上習得している。	児童個人カルテ テスト 学習成果物	A	
	項目 ICTを効果的に活用した学習活動を行っているか。 指標 児童は、スクールタクト・クラスルーム・デジタル教科書等を使って学習している。	市内活用状況表 研究授業 ICT研修	A	
豊かな心の育成	項目 人権教育を推進し、自他を尊重し互いの個性を認め合う集団をつくっているか。 指標 児童は、明るくいきいきと学校生活を送っている。自己有用感・自尊感情が育っている。	児童の様子 自分見つけアンケート	B	・自分見つけアンケートの結果を分析し、本校児童の傾向や一人一人の実態をつかみ、職員で共通理解する。 ・自分で判断したり決定したりする力に弱さが見られるので、そういった体験が積み重ねられるようにする。 ・講師招聘研究授業を実施し、「考え議論する」道徳科の授業づくりを目指す。
	項目 道徳教育の充実を図り、考え議論する道徳科の授業の創造に努めているか。 指標 児童は、道徳的諸価値について理解し、考えを言語化して伝え合い、深めている。	児童の様子 自分見つけアンケート 道徳ノート	B	・新型コロナウィルス感染症に対する偏見や差別がないよう、今後も継続的に指導をおこなう。 ・月1回特別支援教育校内委員会をおこない、児童の実態と目標を職員で共通理解する。また、講師招聘児童理解研修を実施する。SCやSSW、外部専門機関との連携も密におこなう。 ・キャリア教育の一環として、地域の方から話を聞く機会を設ける。
	項目 いじめ・不登校問題について全職員で共通理解し、組織的、積極的な対応をしているか。 指標 児童・保護者は、悩みやしんどさを学校や関係機関に相談している。	児童の様子 いじめ・不登校対策及び生活指導委員会 月1アンケート	A	
	項目 特別な支援を要する児童について全職員で共通理解し、目標を立てて指導・支援を行っているか。 指標 教職員と特別な支援を要する児童が目標を共有し、達成に向けて取り組んでいる。	児童の様子 個別の指導計画 特別支援教育校内委員会	B	
	項目 目標を明確にし、特別活動を要しつつ教育活動全体を通してキャリア教育に取り組んでいるか。 指標 児童は、自己の将来像を描き、学ぶことや働くことの意義・役割を理解している。	児童の様子 キャリア・パスポート キャリアノート	B	

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	○	・ICTを使った学習を見学したい。 ・デジタル化が進んでおり、良いことだと思う。保護者アンケートの中の本に興味をもつ項目の評価が低かったが、デジタル化の影響ではないだろうか。 ・学ぶ力も必要だが、調べる力も付けてほしい。
◎	○	・小さな学校で管理職の先生まで児童一人一人、家族のことで把握され、寄り添っておられる様子が見受けられ、素晴らしい。 ・小規模校なので仕方が無い所ではあるが、その中においてもリーダーシップをとれるような課題があればと思う。

観 点	評 価 項 目 (学校園・教師の取組)		評価資料	達成状況	改善の方策
	評 価 指 標	お よ び 目 標 値 (期待される姿)			
健やかな体の育成	項目	体育・保健学習の改善・充実を図り、児童の主体的な活動に結び付けているか。	児童の様子 体育・保健学習の振り返り 生活表	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が、「マスク着用」「手洗い」「消毒」「黙食」が徹底できるよう、継続的に指導をおこなう。</li> <li>規則正しい生活習慣の確立については、様々な課題がある。保護者への啓発と児童への指導をおこなっていく。外部講師として、栄養教諭や保健師も招聘したい。</li> <li>情報モラルやインターネットについて保護者向けの講演会を企画する。</li> <li>西中学校区で「早寝・早起き・朝ごはん」運動の取組を継続する。</li> </ul>
	指標	児童は、自分の体や健康について理解し、感染症対策等自己の健康管理に取り組んでいる。	児童の様子 縄跳びがんばり表	A	
	項目	日常的な運動や遊びを奨励し、児童の体力づくりを進めているか。	児童の様子 早寝・早起き・朝ごはん表 保護者アンケート	B	
ふるさとを愛する心の醸成	項目	地域での体験活動や、保護者や地域の方との交流を取り入れた教育活動の充実を図っているか。	児童の様子 生活・総合等での振り返り 学校・学年だより	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため、地域に出かけていく機会や地域の方との交流機会が減っているが、「ピシャゴ岩登山」等の新しい活動やリモート学習を取り入れることができた。生活科や総合的な学習、キャリア教育をとおして、地域のよさに触れる活動を大切にしたい。</li> </ul>
	指標	児童は、地域での体験活動や、保護者・地域との交流を通して学んでいる。	児童の様子 生活表 あいさつ運動 保護者アンケート	B	
	項目	「さんぽ・一声運動」やあいさつ運動を推進しているか。	教職員の様子 業務改善推進委員会 記録簿	A	
教職員が働きやすい職場づくり	項目	業務改善の推進に努めているか。	教職員の様子 業務改善推進委員会 記録簿	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に対する要望は多いが、全てに答えられるわけではなく、目の前の子どもたちのためにならざる業務であるかどうかを基準に判断していく必要がある。継続して業務改善を進め、教職員がゆとりをもって児童に接することができるようにする。</li> </ul>
	指標	教職員は、業務改善推進委員会を定期的実施している。定時退勤日・ノー会議デーの実施している。	教職員の様子 業務改善推進委員会 記録簿	A	
	項目	教職員の協働体制が確立されているか。	研究授業 研修会 研究テーマシート	B	
保護者や地域に信頼される学校づくり	項目	教職員の資質向上のため、研究推進に努めているか。	学校評価 学校だより 学校運営協議会 HP	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度以降も職員一人一人が研究テーマをもち研修を進めることで、専門性の向上を図りたい。</li> <li>今年度、学校評価方法の改善を図ったが、コロナ禍のため、保護者や学校運営協議会への周知方法が文書のみとなってしまった。目的や方法について、理解が得られるよう説明し、有意義な学校評価となるようにしていく。</li> <li>コロナ禍のため、最低限の避難訓練しかできていない。今後は、いろいろなパターンの危機に対応できるよう、職員研修をおこなう。</li> <li>コロナ禍のため、学校だよりの発行回数を増やし、様子が伝わるような紙面作りを意識している。継続したい。</li> </ul>
	指標	教職員は、研究主題に向かって、計画的に研究授業や研修会を実施している。	学校評価 学校だより 学校運営協議会 HP	B	
	項目	学校評価を生かした教育活動の改善に努めているか。	学校評価 学校だより 学校運営協議会 HP	B	
	指標	学校は、学校評価結果や改善方法について、学校運営協議会・HP等で説明している。	危機管理マニュアル 安全点検簿 訓練	B	
保護者や地域に信頼される学校づくり	項目	施設環境の整備・危機管理体制の確立に努めているか。	学校・学年だより HP	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍のため、学校だよりの発行回数を増やし、様子が伝わるような紙面作りを意識している。継続したい。</li> </ul>
	指標	教職員は、安全点検を月1回実施したり、危機管理マニュアルに基づいた訓練を実施したりしている。	学校・学年だより HP メール	B	
項目	保護者・地域への積極的な情報発信に努めているか。	学校・学年だより HP メール	B		
指標	学校は、通信やHPを定期的に発行し、学校の様子や考えを伝えている。				

自己評価は適切か	改善方策は適切か	課題と来年度具体的改善方法
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題ない。</li> <li>マスクをせず楽しくわいわい食事ができる日常に戻ればいいですね。</li> </ul>
◎	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウィルス感染症が落ち着き、地域の方々との関わりが深くなることで、ふるさとへの思いが強くなると思います。</li> <li>交流が減っているからか、朝の集合時に地域の方への挨拶ができていない様子が見られた。さんぽ・一声運動への子ども達の意識をより向けられるよう保護者への取組が必要である。</li> <li>コロナ禍で交流は難しいが、地域の良い場所はしっかりと伝えていただければと思います。</li> <li>小規模校の長所を活かしてもらいたい。</li> </ul>
◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職の先生方に相談しやすい、開かれた職員室のように感じます。</li> <li>先生方のゆとりも必要なので良いことだと思います。</li> </ul>
○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校だよりがHPで読めるのは良く続けてほしいが、PDFでUPされているため文章が検索できる状態となっている。人の名前も検索されるため、PNG等でUPするとよいのではないかと。</li> <li>前項の働きやすい職場とのバランスをもって進んでいただければと思います。</li> </ul>

#### 自己評価における特記事項

- タブレットでの学習が始まり、デジタル教科書やスクールタクトなどを授業に積極的に取り入れてる。どの学年・職員も活用率が高い。
- 児童は、休み時間によく外遊びをしている。自然に異学年での遊びもできている。
- 校内の備品整理や不要品の廃棄を進めた。
- 学校行事や教育活動、業務の目的を明確にして取り組むように意識することで、精選につながっている。業務の精選が、職員のメンタルヘルス改善につながり、児童に対してゆとりをもって関わることができるようになってきている。
- 短い期間であったが、フラワーサークルやせいびくく・ままの活動を再開することができ、地域の方と関わる時間がもてた。その際、地域の方から見た児童の様子をお聞きすることができた。
- せいびくく・ままや放課後子ども教室について、学校だよりで協力を呼びかけたところ、地域の方から連絡があり、ありがたい。
- コロナ禍のため、地域の方や保護者と交流する機会や児童の活躍や成長を見てもらう機会が減り、残念である。
- コロナ禍のため、中止したり規模を縮小したりした学校行事が多くあったのは残念である。しかし、これまでを振り返ると、学校行事が大きく、また多くなりすぎて、授業時間を削り、児童や職員に負担をかけるかきすぎた感がある。コロナ禍が解消された後の学校行事の持ち方について、職員、学校運営協議会、保護者と見直しをおこない、検討していく必要がある。

#### 項目以外の点での来年度の課題や具体的改善方法

- コロナ禍の中、行事を精査し、最小の投資(方法)で最大の利益(効果)が得られるよう地域ぐるみで考えていきたい。
- コロナ禍で行事の規模を縮小したが、それはそれで悪くなかった。年々児童数が減少していく中、昔から変わらない内容でなくてもよい。少人数が活かされる内容に変更も検討すべきである。少人数だからできる西小ならではの何かができるように。
- コロナ禍でどうしても制限があるので、少しずつデジタル化という方向に進んでいかなければと思います。
- 給食センターの更新計画が実施されているようだが、赤穂市のHPにアップされているメニューを見ると、児童が喜んで食べているのか甚だ疑問に感じる。(病院食より見劣りする)